



第5章
公園便所の
仕様標準

1 規模・構造・配置・主要設備

(1) 規模・構造

公園便所の規模・構造に関する仕様標準を表5-1-1のとおり設定します。タイプは、大・中・小の3種類とし、タイプ毎に設置対象公園、規模（建築面積）、構造（種別）を設定します。ただし、タイプ大の便所を設置する主要な都市公園（8箇所）には、「都市公園等整備・管理方針」において、官民連携による公園の魅力向上を図ることとしていることから、タイプ大の便所を少なくとも1箇所以上設置した上で、公園の魅力向上に繋がる便所の設置を別途検討することとします。

表 5-1-1 公園便所の規模・構造標準

仕様標準のタイプ	設置対象公園	規模 (建築面積)	構造 (種別)	年間費用※1	建設費※2
大	主要な都市公園 (8箇所)	24.61 m ²	鉄筋 コンクリート造	121万円/年	3,600万円/箇所
中	近隣公園・街区公園 ・千里緑地（第4区）	17.75 m ²	鉄筋 コンクリート造	98万円/年	2,700万円/箇所
小	設置スペース等に 制約のある公園	9.98 m ²	鉄筋 コンクリート造	69万円/年	2,200万円/箇所

※1 年間費用の算出根拠は、「資料編 資料6 標準仕様タイプの公園便所に係る年間費用」を参照。

※2 建設費は、建築工事、外構工事、機械設備工事、電気設備工事、共通費、消費税（10%）の合計。

※3 仕様標準の詳細は、別途設計を行い決定。

(2) 配置・主要設備

公園便所の配置・主要設備に関する仕様標準を図5-1-1のとおり設定します。また、いずれのタイプにおいても、入口付近に防犯カメラを設置し、防犯対策を行います。

なお、タイプ大は従来のタイプ大、タイプ中は従来のタイプ小、タイプ小は多機能便房に男子便所を付加した仕様が基本となっており、和式便器を大便器（洋式）に変更するなど、一部変更を行っています。

配置平面図（案）	主要設備の種類と数
<p>仕様標準「タイプ大」</p>	<p>男性便所 大便器 1基 小便器 1基 洗面器 1基</p> <p>女性便所 大便器 2基 洗面器 1基</p> <p>多機能便房 大便器 1基 洗面器 1基</p>
<p>仕様標準「タイプ中」</p>	<p>男性便所 小便器 1基 洗面器 1基</p> <p>女性便所 大便器 1基 洗面器 1基</p> <p>多機能便房 大便器 1基 洗面器 1基</p>
<p>仕様標準「タイプ小」</p>	<p>男性便所 小便器 1基 洗面器 1基</p> <p>女性便所 —</p> <p>多機能便房 大便器 1基 洗面器 1基</p>

図 5-1-1 公園便所の配置・主要設備標準

大便器（腰掛式便器）	小便器
 <p data-bbox="347 719 639 752">(健都レールサイド公園)</p>	 <p data-bbox="1023 719 1177 752">(大井池公園)</p>
洗面器	多機能便房
 <p data-bbox="411 1223 572 1256">(大井池公園)</p>	 <p data-bbox="954 1223 1246 1256">(健都レールサイド公園)</p>

図 5-1-2 公園便所の主要設備の種類

2 バリアフリー

ユニバーサルデザインによる全ての人々が使用しやすい公園便所づくりを推進するため、バリアフリー新法と都市公園移動等円滑化基準に則り、また、移動等円滑化整備ガイドラインの解説を参考に、公園便所のバリアフリーに関する仕様基準を設定します。

表中の用語説明

■ 法令	高齢者、障害者の移動等の円滑化の促進に関する法律、 移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めた省令
■ ガイドライン	ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり【改訂版】都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン（改訂版）の解説
■ 吹田市	本計画で設定する仕様基準

(1)公園便所全般

公園便所全般の基準を表 5-2-1 のとおり設定します。公園便所全般の基準は、都市公園内の全ての便所に適合義務が生じます。

表 5-2-1 公園便所全般の基準

適合要素	適合数値	法令	ガイドライン	吹田市
床の表面	滑りにくい	○	○	○
男子用小便器	床置き式や壁掛式で、受け口高さ 35 cm以下 ※設ける場合 1 以上	○	○	○
男子小便器用手すり	※バリアフリー基準に適合する男子用小便器を設ける場合 1 以上併設	○	○	○

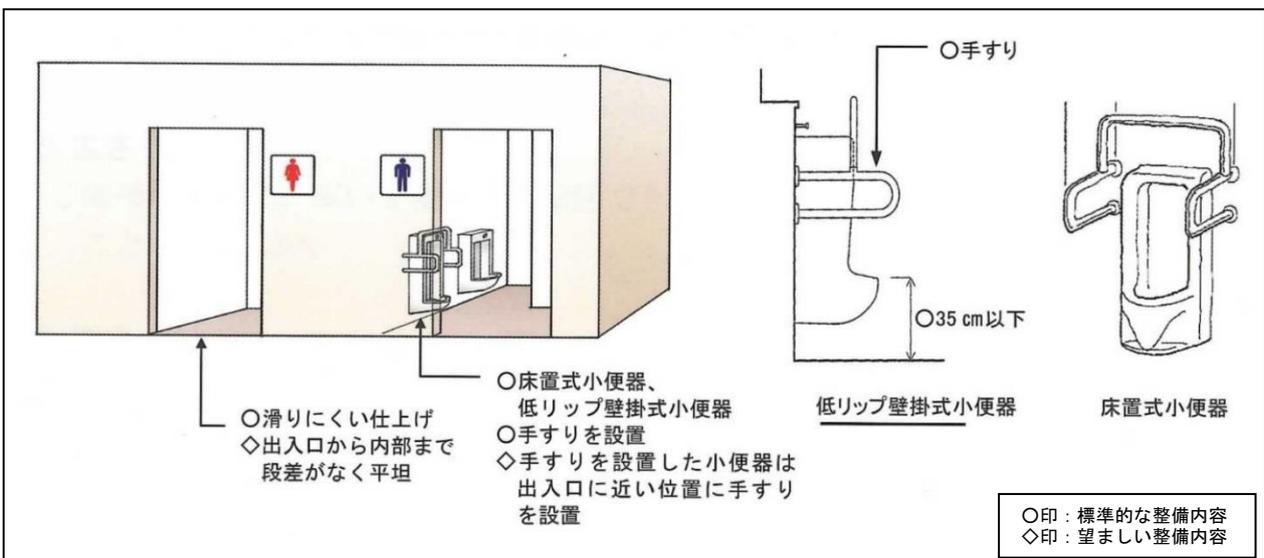


図 5-2-1 公園便所全般の基準

(出典：移動等円滑化整備ガイドラインの解説)

(2)多機能便房がある公園便所の構造

多機能便房がある公園便所の構造基準を表 5-2-2 のとおり設定します。多機能便房がある公園便所の構造は、車いす使用者等が円滑に便房まで移動できるよう配慮し、出入口の幅や車いすの回転に必要な広さを確保する必要があります。

表 5-2-2 多機能便房がある公園便所の構造基準

適合要素	適合数値	法令	ガイドライン	吹田市
出入口 幅	有効幅 80 cm以上	○	○	○
出入口 段	なし ※やむを得ない場合は傾斜路を併設	○	○	○
出入口 標識	配慮内容を表示 (障がい者、オストメイト等)	○	○	○
出入口の戸 幅	有効幅 80 cm以上 ※設ける場合	○	/	○
出入口の戸 構造	開閉・通過が容易 ※設ける場合	○	/	○
広さ(多機能便房の手前)	車いす利用に適応 (150×150 cm以上)	○	○	○

() 内：法律に記載ないが、ガイドラインに記載あり



図 5-2-2 多機能便房がある公園便所の構造基準

(出典：移動等円滑化整備ガイドラインの解説)

(3)多機能便房の構造

多機能便房の構造基準を表5-2-3のとおり設定します。

表5-2-3 多機能便房の構造基準

適合要素	適合数値	法令	ガイドライン	吹田市
出入口 幅	有効幅 80 cm以上	○	○	○
出入口 段	なし	○	○	○
出入口 標識	障がい者等の配慮内容を表示するものを設置	○	○	○
出入口の戸 幅	有効幅 80 cm以上 ※設ける場合	○	○	○
出入口の戸 構造	開閉・通過が容易（引き戸など）※設ける場合	○	○	○
広さ	車いす利用に適応（200×200 cm以上）	○	○	○
腰掛便座	設置（高さ 40～45 cm）（JIS 規格準拠）	○	○	○
腰掛便座の手すり	設置（JIS 規格準拠）	○	○	○
水洗器具	障がい者等の円滑な利用に適した構造を有するものを設置（JIS 規格準拠）	○	○	○
蛇口	（操作が容易なセンサー・レバー式）	△	○	○
洗浄スイッチ	（押しボタン式など。操作部及び紙巻器の配置及び寸法：JIS 規格）	△	○	○

() 内：法律に記載ないが、ガイドラインに記載あり

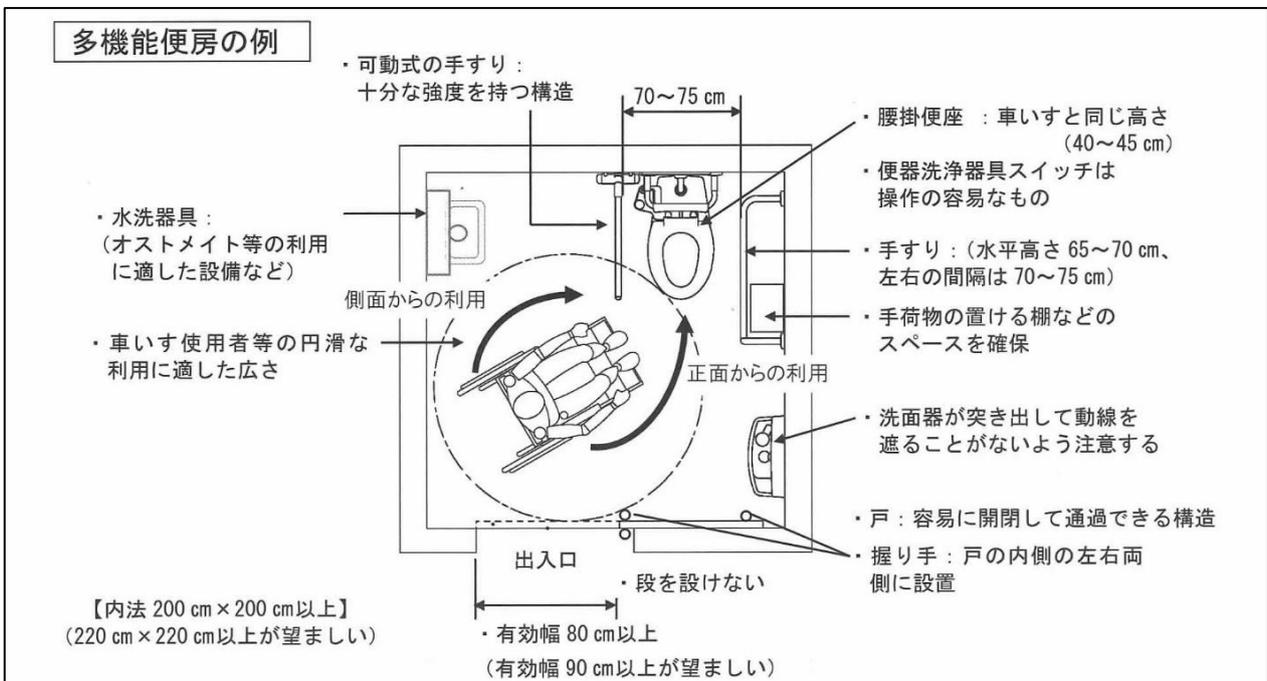


図5-2-3 多機能便房の構造例

（出典：移動等円滑化整備ガイドラインの解説）

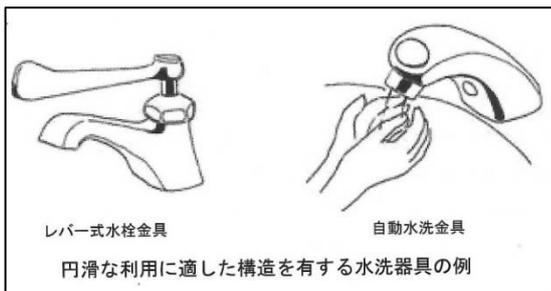


図 5-2-4 水洗器具の例
(出典：移動等円滑化整備ガイドラインの解説)

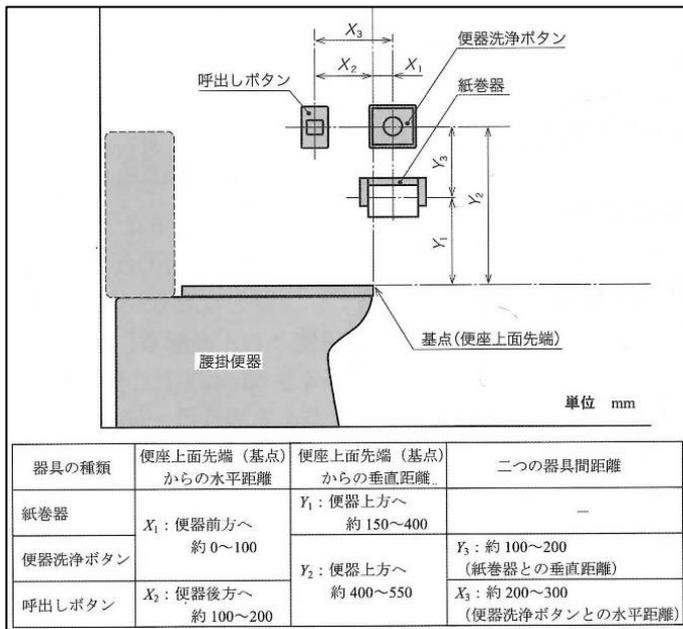


図 5-2-5 洗浄スイッチ等の配置及び寸法 (JIS 規格)
(出典：移動等円滑化整備ガイドラインの解説)

(4)多機能便房の設備

多機能便房の設備基準を表 5-2-5 のとおり設定します。法令に基準が設定されていないため、ガイドラインに示されている「○印：標準的な整備内容」を基本に設定しています。

表 5-2-5 多機能便房の設備基準

設備名	仕様	法令	ガイドライン	吹田市
大便器（腰掛式便器）○	洋式		1基	1基
大便器用背もたれ◇			1基	
大便器用手すり○	固定L型		1基	1基
大便器用手すり○	可動式		1基	1基
洗面器○			1基	1基
小型手洗い器◇			1基	
オストメイト専用汚物流し◇			1基	1基
乳児用おむつ交換シート○			1基	(1基)
折りたたみ式おむつ交換シート◇			1基	
ベビーチェア◇			1基	
荷物置き場○			1基	1基
フック○			1基	1基
紙巻器（ペーパーホルダー）○	ステンレス、2連		1基	1基
便器洗浄ボタン○			1基	1基
呼出しボタン○			1基	1基
平面鏡○			1基	1基
姿見鏡◇			1基	

○印：標準的な整備内容
◇印：望ましい整備内容
()：将来対応

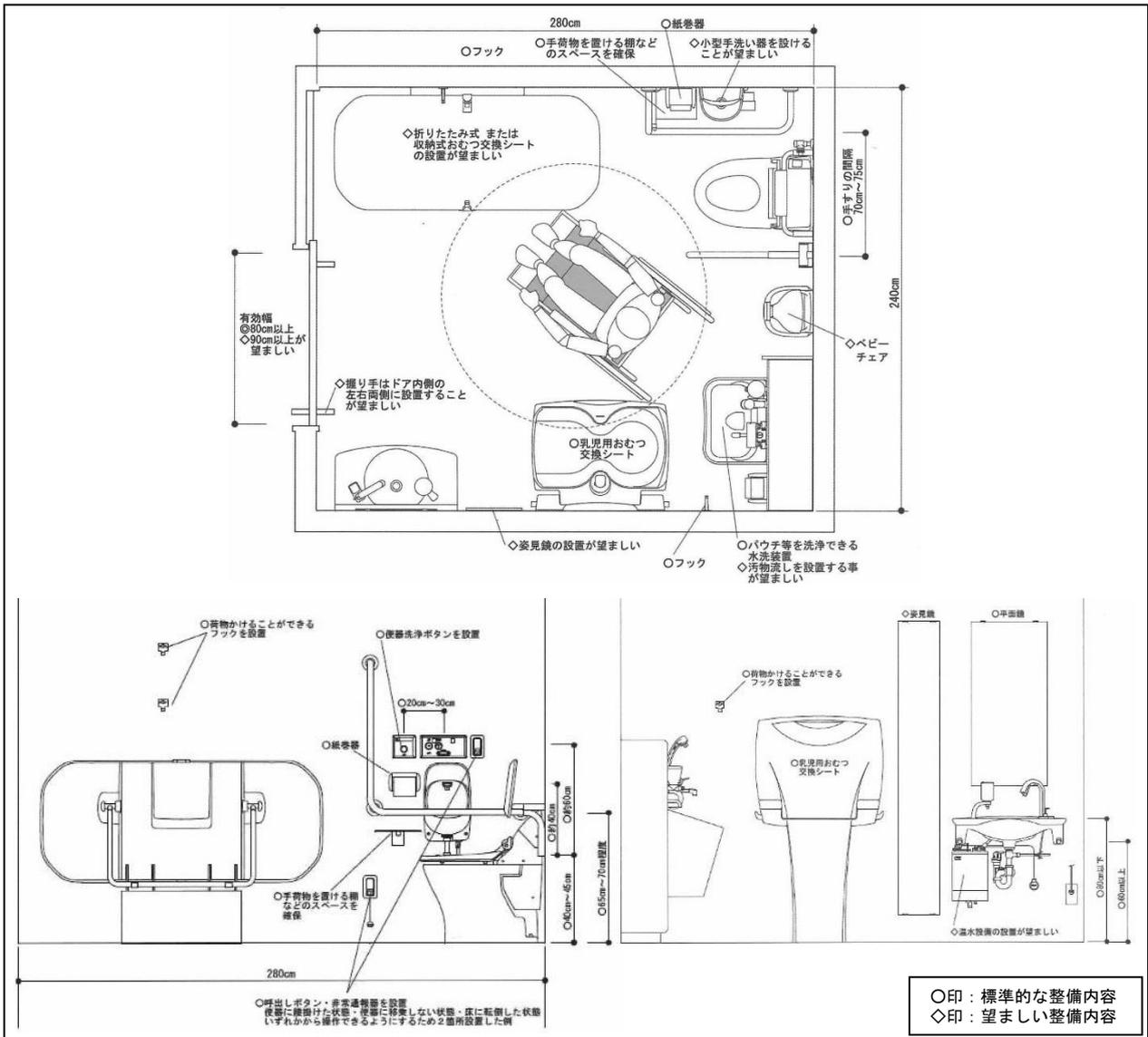


図 5-2-6 多機能便所の設備設置例

(出典：移動等円滑化整備ガイドラインの解説)



図 5-2-7 設備のイメージ写真 (健都レールサイド公園の多機能便房)

3 防災機能

避難地指定されている都市公園の便所には、新設時等に防災物品の収納スペースを設け、①防災機能の即時発揮、②低コスト、③速やかなし尿の収集・処理に優れる非常用便所（組立簡易式トイレまたは携帯トイレ）を備蓄することで防災機能を付加します。非常用便所の入手方法は、今後関係室課と協議し、工事による納品や複数部署による一括購入等の中から最適な方法を選択します。また、非常用照明の設置等にも努め、更なる防災機能の強化を図ります。（詳細は、「資料編 資料7 『避難地指定されている都市公園の便所に付加すべき防災機能』 検討結果」を参照。）

凡例

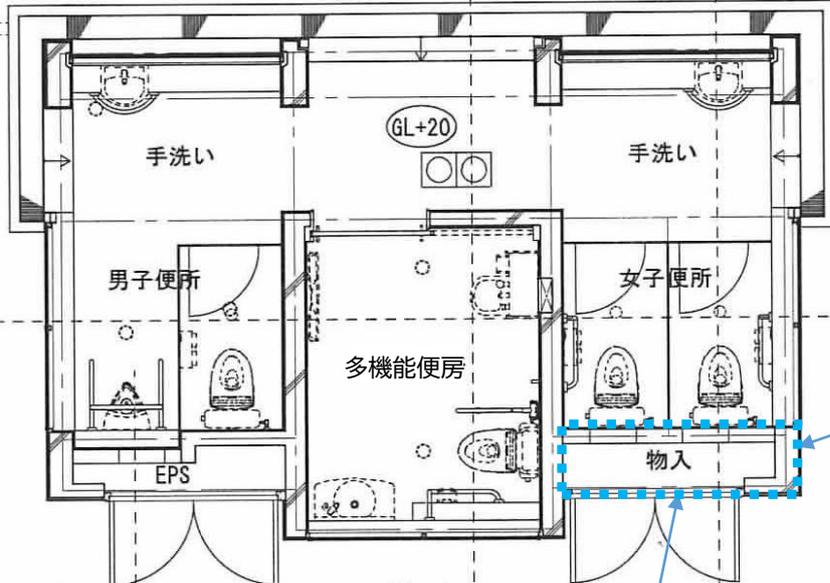
- ◆：付加する防災機能のイメージ
- ：災害時に得られる効果

◆非常用照明の設置

- 災害時にエネルギーを自律的に供給できるため、停電時の夜間等の安全性確保や目印となります。



ソーラー照明 イメージ図
(新しいみ公園)



◆バッテリーの備蓄

- 停電時の電源として、スマートフォン等の充電ができます。

◆パイプスペースの活用等による収納スペースの確保

- 災害時の備えとして、防災物品（非常用便所等）の収納ができます。

■屋内型（ダンボールトイレ）
(ダンボールの組立式便器に便袋をつけて使用)

■携帯トイレ
(既存の洋式便器につけて使用する便袋タイプ)




防災物品（非常用便所）イメージ図
(出典：災害廃棄物処理計画（改訂版）（平成30年（2018年）7月）)

図 5-3-1 公園便所に付加する防災機能のイメージ

4 魅力向上機能

主要な都市公園（8箇所）には、「都市公園等整備・管理方針」において、官民連携による公園の魅力向上を図ることとしていることから、タイプ大の公園便所を少なくとも1箇所以上設置した上で、公園の魅力向上に繋がる便所の設置を別途検討することとします。

公園の魅力向上に繋がる便所の他市事例

渋谷区 代々木深町小公園



透明トイレ（外観）



多機能便房（内観）

- ・日本財団が誰もが快適に利用できる公共トイレの設置プロジェクト「THE TOKYO TOILET」を実施。
- ・世界的な建築家やデザイナーが手掛けたトイレを渋谷区内の計17箇所に順次設置。
- ・代々木深町小公園のトイレは、調光フィルムを貼ったガラス張りの建物で、利用者がいないときはフィルムに電気を流すことでガラスが透明となり、中が見えている状態に。トイレ内に入り鍵を閉めることで電気が流れなくなりガラスが不透明になる仕組み。
- ・「トイレの中はきれいか」「中には誰も入っていないか」といった公共トイレの不安を払拭するとともに、夜にはまるで美しい行灯のように公園を照らすことが狙い。

岡山市 西川緑道公園



トイレの改装後イメージ（外観）



パウダールーム（内観）

- ・ネーミングライツ（命名権）の制度を活用し改装を実施。
- ・民間活力を生かして公園の魅力向上や地域環境の改善を図ることが狙い。
- ・改装後は、新たに「パウダールーム」を設置。
- ・完成後もボランティアでメンテナンスを実施中。
- ・工事施工者が自主的に週5回の便所清掃を実施中。

